



病後児保育室

ひまわり

梅雨の晴れ間に差し込む眩しい日差しに、初夏の訪れを感じる季節となりました。早寝早起きの習慣を大切に、たくさん遊んで、たくさん食べて、体調を整え、暑い夏を元気にたのしく過ごせるといいですね。

病後児保育室「ひまわり」はどんなときに利用できるの？

- ・病気のピークを越えよくなりつつあるとき
- ・薬の内服が必要なとき
- ・咳や鼻水がでるとき
- ・消化の良いものなど食事に配慮が必要なとき
- ・外あそびや水あそびを控えたいとき

病気のあと、「もう 1 日休んだ方が良くかなと思うけれど、仕事もあるし…」 「まだ食欲がなくて、保育園や学校で 1 日過ごせるか心配」 など病気の回復期に、一人ひとりの体調や生活リズムに合わせて過ごすことができます。

集団生活に戻るには心配な時、子どもたちが十分に回復するまでの間、病後児保育室「ひまわり」をご利用ください。

～夏に流行しやすい病気について～

*手足口病：手のひら・足の裏や甲・口の中に小さな水疱ができ、ときに発熱します。

*ヘルパンギーナ：高熱が2～3日続き、のどの奥に水疱ができます。

*プール熱（咽頭結膜熱）：主な症状は、発熱・喉の痛み・結膜炎です。

市内の保育園では登園許可証が必要な病気です。

病後児保育室でも登園許可証が出てからご利用いただけます。



上記の病気では、のどや口の中が痛くて食事が食べにくくなる場合があります。

病後児保育室「ひまわり」では食事の配慮をすることもできますので、ご相談ください。

病後児保育室を利用するには、事前の登録が必要です

*登録にあたり、元気なときに親子で事前に来室していただきます。

*事前来室は Web 予約制です。予約は生後 11 か月よりお受けしています。

ききょう保育園のホームページ『病後児保育室 ひまわり』をご確認ください。

*きょうだいの登録など、過去にオリエンテーションを受けていただいている場合は、担当者と子どもの顔合わせと書類提出のみです。

